

精神科の薬と主体的に 付き合うためのアプローチ GAM



～カナダケベック州よりセリーヌさんをお招きして～

2月2日（日）13時30分～16時30分

東京大学駒場 | キャンパス18号館4階コラボレーションルーム 1

参加費無料

キャンパスマップ



向精神薬を、「飲まされる」のではなく、「飲ます」
のでもない、強制、被強制を超えた、アプローチが存在
するのか？

カナダ、ケベック州から、当事者であり、また GAM
（ギャム：Gestion autonome de la medication 精神
科治療薬を自律的に服薬するためのアプローチ）の普及
をされているCéline Cyr（セリーヌ・シーア）さんをお
招きして、お話を聞けることになりました。GAMを日
本に紹介された大阪府立大学の松田博幸さんにもご同席
いただきます。

GAMを学び、日本における実践可能性を皆さんと
ディスカッションできれば幸いです。



使用言語：英語（及びフランス語）
逐次通訳がつきます。（通訳：石渡崇文）

司会：松本葉子／石原孝二

要事前登録 グーグルフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/Bk86ebvLJFzXXSya7>

「抗精神病薬と社会」研究会お問い合わせ先e-mail：
kouseishinyakukenkyl@gmail.com



Céline Cyr (セリーヌ・シーア) 氏



カナダ、ケベック州でのGAMパイオニアの一人。ケベック州で、オルタナティブアプローチやGAMの教育、実践、研究を行っている。モントリオールのオルタナティブ治療センターPrise 2 (Take 2) でサービス提供者として、また、TÉLUQ 大学では研究者として働いている。ソーシャルワークで修士号取得。修士論文は、GAMの旅を引き受けた当事者の視点からの精神科薬内服体験をテーマとした。彼女は、prosumer (プロシューマー、プロフェッショナル+コンシューマー) である。専門家と当事者両方の視点から経験を理解できることに誇りを持っている。

GAMについて。以下のサイトの下の方のリンクを参照。(英語)

http://www.rrasmq.com/About_Us.php?fbclid=IwAR3usEtcuS8Aw0i0q8C6bTwqvHDWyeEedz8ye-3x73F5fIMqJDWjx-8SG2s

